平成 24 年 4 月 16 日

会社名　　特種東海製紙株式会社
代表者名　代表取締役社長　三澤　清利
（コード番号 3708　東証第 1 部）
お問合せ先　取締役　特殊素材事業グループ
営業開発本部長　松田　裕司
（TEL　03-3273-8512）

放射性物質を吸着するゼオライト不織布の開発

当社は、放射能物質の飛散および移着の防止をターゲットとした、耐久性と施工性に優れたゼオライト不織布の開発に取り組んでおります。平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により飛散する放射性物質の吸着材料として、検証用サンプルの提供について平成 24 年 4 月中旬より受け付けを開始します。

ゼオライトはセシウムやストロンチウムを吸着しやすい物質であり、原発事故で飛散した放射性セシウム(Cs137)や放射性ストロンチウム(Cs90)の除染に利用できるのではないかと期待されております。従って、農地や水田ではゼオライト粉末を散布する方法も検討されておりますが、一方で、散布したゼオライトが放射性物質を吸着してもその回収が難しく、さらに風雨によって他の土地に飛散および移着するおそれもあり、効率的に放射性セシウムを回収できない可能性があります。また、均一な散布が難しく、大変な人手や手間がかかるという課題があります。

そこで当社は、結露防止シートや調湿シートで長年培った不織布製造の技術および知見を応用し、放射性物質が飛散および移着しにくい材料と技術を利用して、不織布と不織布の間にゼオライトを均一に固着させることに成功しました。

本不織布の主な特長は、

- 放射性セシウムを不織布内部に吸着かつ閉じ込めることが期待できる
- 用途に応じて適切な不織布を選択できる
- 不織布表面からのゼオライト粉末の脱落が起こりにくい
- 水に濡れても強度の低下がほとんどなく、耐久性に優れた不織布を使用
- 施工しやすいように、特殊加工により柔軟性を付与
- 枚葉やロールの形状で提供ができ、断裁や折りたたみなどの加工が可能

以上の特長から、屋内外を問わず使用が可能であり、汚染水や土壌中の放射性セシウムの飛散や移着防止が期待できます。また、土地や建物に簡便かつ均一に敷き詰めることができ、施工の手間が大幅に削減されるとともに、使用後も不織布を巻き取ることで効率的な回収が可能となります。

当社は引き続き、サンプル提供により放射能物質の吸着性能の実証試験を行い、性能の向上と実用化を目指します。さらに、用途開発を進めることで、今後の除染事業への貢献に努めます。

なお、本不織布の開発が寄与する業績見通しに対する影響については、当面軽微と考えますが、今後の実証試験結果による製品化の可能性と生産販売予測を見極めた上で、分かり次第開示いたします。

以 上

※　本不織布は、新生紙パルプ商事株式会社を通じて用途開発を進めていきます。
なお、本件に関する内容のお問合せは次までお願い致します。
特種東海製紙株式会社　営業開発本部　市場開発部長　秋山宏介　℡．03-3273-8512